

令和6年度 医学部・薬学部 入学試験 英語 解説

出題意図について

全体を通じての出題意図は以下のとおり。

- 多種多様なテキストを的確に読み取り，理解する能力を評価する。
- そのテキストが表現媒体として，あるいはコミュニケーション媒体として旨とするところを，テキスト理解にもとづいて把握する能力を評価する。
- 英語ならびに日本語の語彙を理解し，運用する能力を評価する。
- 学んだ知識と身につけた技能を応用し，英語ならびに日本語で他者に伝えるべく表現する能力を評価する。

各問について

I

出典は，医学の歴史において傑出した業績を上げた学者を論じた研究書である。テキストは，如何にパラケルススが既存の権威に抗して独自の研究を発展させたかを説いている。この点は現代の研究において，とりわけ自然科学の営みを理解するにあたっては，常に意識されるべき事柄である。設問は標準的な形式である。テキストの論旨および議論の流れをしっかりと追えれば対応できるだろう。

問1，2，3，4

論述の展開を理解したうえで，語彙や構文を，さらには文章としての論理構造を，的確に読み取り適切な日本語で表現できるかを評価する。どの問題も、英文の構造を判別して読解する能力を，また，文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・ 語彙の多様な用法の理解
- ・ 諺的な表現の理解
- ・ 前置詞を用いた表現の理解
- ・ 関係代名詞節の理解
- ・ よく用いられる基礎的な構文の理解

問5

確実な語彙力を持っているか，また論述の展開を確実に追えているかを評価する。

II

イギリスの高名な言語学者の著書から出題されたテキストは、現代の世界で事実上の lingua franca として受けとめられ、広範かつ圧倒的な流通と使用を謳歌する英語もしくは米語という言語について、いまではあまり意識されることのないやもしれぬ観点から論じたものである。

幼年時からの英語教育がかまびすしく口の端にかけられる社会に暮らす人間として、こうした観点から考える機会をもつことは有意味であろう。そしてそれは学問的にも必要な態度である。

問1

テキスト全体が旨としている事柄を端的に把握できているかを評価する。

問4

テキストの論述の流れもしくは構造を把握できているかを評価する。

問2, 3, 5, 6

論述の展開を理解したうえで語彙や語句を、さらには文の syntax を、的確に読み取り適切な日本語で表現できるかを評価する。今回は、用いられている語彙はむしろ難しくないけれど文構造を十分把握しなければ誤読されうる文章に、少しばかり重点を置いた。評価基準とされた事柄を以下に列挙する。

- ・ 語彙の多様な用法の理解
- ・ 形容詞句の理解
- ・ 関係代名詞節の理解
- ・ 修辭的定型句の理解

III

出典は、人生を取り巻く外の世界と人生を生きる本人について、ある女性の意識の流れをとおして捉えよう試みた、実験的な小説である。引用されたテキストに描かれる場面は、家庭生活のごくありふれた日常であるが、それを捉える女性の意識の流れに沿って読むことが求められる。

問1

代名詞は、その名のとおり名詞に代わるものであるが、ある事柄を代名詞で受けることにより、文と文をつなぐコネクターとしての役割を果たすこともある。読者は代名詞の指し示す内容を把握することで、文章の流れに気づくことができる。本問において、代名詞の指し示す内容を把握し、文章の流れに沿って読めているかを評価する。

問2

女性本人とその人生がうまく折り合いをつけていたと言えるような具体例を挙げるのが求められる。

問3

[A] イ [B] ウ [C] ア

IV

出典は、有名な心理学者の老いに関するエッセイである。日本語特有の表現を柔軟に解釈し、基礎的な英語の知識と論理的思考力を駆使して、英語で表現することができるかを評価する。